

平成 27 年度 北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

1. 趣旨

内閣府、北海道・東北ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うと共に、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

2. テーマ

地域の青少年が飛び立てる環境作り ～体験から始まる人材育成～

インターネットの普及により情報が容易に入手できるようになったが、私たち、特に青少年層にとって大切な環境である、多様なキャリアを持った人材との出会いや進路などへの意識の変化に影響するような直接的な体験の機会は十分に行き届いている状態ではない。さらに、都市部とそれ以外での情報量の地域間格差も縮まっているとは言いがたい。

本大会では、グローバル化が進む社会において、私たちがより広い視野を持ち積極的に地域社会に貢献していくために、如何なる活動が必要か、そして次世代が社会貢献活動や新たな場に挑戦していくためにはどのような環境創りが求められているのか考える。さらに、海外留学をする者が減少するなど青年層の内向き思考が言われる中で、地方の青少年が世界に挑戦できる環境を作るために、国際的な場を経験した私たちも、より視野と活動の幅を広げていくにはどのような取組が効果的かを意見交換し、多くの人々を巻き込んで各地域での活動していくことをねらう。

3. 主催

内閣府

日本青年国際交流機構

一般財団法人 青少年国際交流推進センター

青森県青年国際交流機構

4. 後援（予定）

青森県 弘前市 新聞社（東奥日報社予定）

5. 主管

平成 27 年度「北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

6. 期日

平成 27 年 7 月 18 日（土）～19 日（日）

7. 会場

（会場名） アソベの森 いわき荘

（会場住所） 青森県弘前市大字百沢字寺沢 28-29

（電話番号、FAX 番号） TEL：0172-83-2215 FAX：0172-83-2855

8. 参加対象者

内閣府、各ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者
国際交流に関心のある青少年等

9. 問合せ先

北海道・青森ブロック青少年の国際交流を考える集い実行委員長 鴨井 智士

TEL 090-5896-9749

E-Mail satochop@gmail.com

10. 参加費

宿泊（全日程参加）	9,800円（懇親会費込、1泊2食付、コテージ6~10人部屋） （3歳~小学生以下 6,000円、日帰り参加 4000円） 13,000円（本館和室、1泊2食付 5人部屋） 14,500円（本館和室、1泊2食付、3人部屋） 16,000円（本館和室、1泊2食付、2人部屋）
日帰り参加（懇親会費込）	7,000円 ※講演会・報告会のみ参加 500円

11. 参加申し込み

参加申込書に氏名、住所、性別、連絡先（電話番号等）、参加人数、懇親会参加の有無、宿泊の有無を明記の上

7月3日（金）までに、下記まで郵送、Email、FAXのいずれかでお申込み下さい。

- 【申し込み先】
- ①Emailにて aomoriieo2015@gmail.com
 - ②フォームで登録 <https://goo.gl/dE4Dmi>
 - ③FAXにて (017) - 771-4988

【振込先】

ゆうちょ銀行 八四八支店 普通預金 口座番号普通 16593611
ゆうちょ銀行 記号 18490 番号 16593611
口座名義 青森県青年国際交流機構 会長 木村 大輔

12. 日程

第1日目 7月18日（土）

12:30~13:45	国際交流事業関係者連絡会議（小研修室）
13:00~13:30	受付
13:45~14:00	開会式
14:00~15:00	講演「社会参加を通じた地域の若者のグローバル社会への意識向上（案）」 講師：グエン・チ・ギア（青森中央学院大学経営法学部講師、東北大学経済学研究科客員研究員）
15:00~15:30	記念撮影、休憩
15:30~17:30	分科会
17:30~18:30	チェックイン
18:30~20:30	懇親会

第2日目 7月19日（日）

7:00~8:00	朝活（岩木山神社散策）
9:00~11:30	内閣府青年国際交流事業代表青年帰国報告会・北海道・東北ブロック事後活動報告
11:30~11:45	閉会式
11:45~	地域理解研修 地域理解研修コース① 白神山地コース 地域理解研修コース② 津軽地区、田んぼアートコース

13. 基調講演・分科会概要

基調講演 「社会参加を通じた地域の若者のグローバル社会への意識向上（仮）」

講師 グエン・チ・ギア 青森中央学院大学 経営法学部 講師 東北大学大学院経済学研究科 客員研究員

略歴 ベトナム生まれ。ベトナム国立貿易大学、青森中央学院大学を経て、東北

大学大学院経済学研究科博士課程に進学。2010年に同研究科の最優秀博士課程修了者として東北大学総長賞を受賞し、博士号（経営学）を取得。同研究科の博士研究員と青森中央学院大学地域マネジメント研究所の研究員を経て、2013年より現職。教育、研究の他、現在は積極的に発展途上国支援、東日本震災復興や地域活性化のプロジェクトを企画・推進している。

分科会① 「高校生によるまちづくり活動から見た若者支援に必要なこと（仮）」
 講師 久保田 圭祐 NPO 法人あおもり若者プロジェクト クリエイト 理事長
 概要 高校生が主体となって積極的にまちづくりを実施しながら多くの大人や組織とともに学ぶ活動を紹介。高校生が大人に望んでいることを聞き、具体的な支援や方法について意見交換を行う。

分科会② 「国際交流を通じた地球市民ジュニアの育成」
 講師 工藤 健 NPO 法人ジュニアグローバルトレーニングスクール 顧問
 概要 毎年8月、県内留学生とともに、青森県内で児童100人（県内児童、アメリカ、韓国、ロシア等）を対象に共同生活を通じた地球市民ジュニアの育成を行っている。児童と地元留学生との共同を通して、どのような取り組みが児童の可能性やグローバル社会に対する意識変化に効果的か議論する。

分科会③ 「承認」から始まる若者育成ワークショップ
 講師 木村 大輔 青森県青年国際交流機構 会長
 内容 どのような分野であれ、若者がどんどん自己肯定感を高めて挑戦し続ける意識を持つには「認める」ことが大切である。実際に「承認」することを体験するワークショップを行い、若者育成の現場で実践できる技術を習得する。

14. 地域理解研修（各コース4,000円、昼食代、施設入場料込）

コース①：白神山地コース

世界遺産白神山地を訪問し、その歴史と人々への恩恵、共生について理解を深めます。雨天または道路閉鎖の場合、津軽地区コースと合流します。

コース②：津軽地区コース

弘前藩中心である弘前公園、森のイスキア（建物周辺散策）、田舎館村の田んぼアート訪問をし、地域の魅力の再発見につなげます。

15. 実行委員会

実行委員長	鴨井 智士	第22回「世界青年の船」事業（平成21年度） 青森県青年国際交流機構 副会長（弘前市）
副実行委員長	木村 大輔	第16回「世界青年の船」事業（平成15年度） 青森県青年国際交流機構 会長（弘前市）
事務局長	佐藤 彩子	第18回「日本・韓国青年親善交流」事業（2003年） 青森県青年国際交流機構（八戸市）
委員	木村 早霧	第16回「世界青年の船」事業（平成15年度） 青森県青年国際交流機構 事務局長（弘前市）
委員	丹藤 祐代	外務省「21世紀東アジア青少年大交流計画」日本代表青年 （学生、弘前市）
委員	山田 堅也	青森公立大学（学生、青森市）
委員	山田 菜那衣	青森中央学院大学（学生、青森市）